

# 新年年頭ごあいさつ

## 一般社団法人 日本内燃力発電設備協会

### 会長 平野正樹

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には日頃より当協会の業務につきまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

新しい年を迎え、当協会会員一同、心を新たに、自家発電設備の信頼性及び安全性の向上に取り組み、社会の安心に寄与すると共に、自家発電設備の適切な供給及び保全の推進に努めて参ります。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、一年遅延した東京オリンピック・パラリンピックは、無観客での開催となってしまいました。その中で多くのアスリートたちの活躍は久しぶりに明るい話題を提供してくれました。令和3年10月頃から感染者数が減少傾向にあり、早期の社会経済活動の再開を目指す動きが出ていますが、新たな変異株が発生する等、今後懸念される「第6波」への備えを着実に推進することが必要と考えます。

次に、令和3年の国内における災害状況を顧みますと、地震、豪雨による災害が数多く発生した年でした。地震災害では、令和3年2月の福島県沖、10月の東京・埼玉等、全国的に震度5を超える地震が多くありました。豪雨による災害では、特に令和3年7月の神奈川県熱海市で発生した土石流が記憶に残る災害となりました。8月には、九州、北陸、中国地方等の各地で大雨が続き、60余りの河川の氾濫に伴う災害により多数の死傷者を出しました。

本年が災害の少ない穏やかな一年となりま

すことを切に願う次第であります。

なお、停電を伴う災害時における自家発電設備にあっては、着実に始動し、非常電源としての役割を果たしていることが報告されております。当協会としては、災害対応能力の強化のために自家発電設備の更なる普及促進、導入容量の拡大に努めたいと思います。

いまだにコロナ禍の問題解決の糸口がつかめない中、当協会の理事会や会員相互の交流の機会が再開できない状況が続いておりますが、引き続き各事業の更なる充実を図りますと共に、時代の変化に的確に対応した積極的な事業展開に努めて参ります。皆様の一層のご支援とご理解をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍という異常事態の中においても皆さまが未来に明るい希望がもてる日常をできる限り早く取り戻されることを心からお祈り申し上げますと共に、会員各社の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念し新年のご挨拶といたします。